

功事例を通じて」と題したご講演を賜りました。

本地方会は産声をあげたばかりであります。これからの医療の質の向上に取り組み、地域医療に貢献したいと願っております。

第2回宮崎地方会は、県立日南病院 木佐貫篤先生に当番世話人をお願いすることになりました。

## 第5回沖縄地方会学術集会

地方会会長：石井和博

第5回世話人：北中城若松病院院長 涌波淳子



会場風景

第5回日本医療マネジメント学会沖縄地方会学術集会は平成18年9月30日に開催されました。今回は会場を沖縄本島の中部に位置する沖縄市民小劇場「あしびなー」で開催し、医療安全、クリティカルパス、経営等の11演題が報告されました。

また、会場内の休憩フロアにはクリティカルパスの展示を行ない、今年から多く見られるようになった「地域連携クリティカルパス」の提出もあり、休憩時間には多くの方が真剣に見入っていました。

今年の特別講演には、和田仁孝先生(早稲田大学法務研究科教授・早稲田大学紛争交渉研究所所長)をお招きして、新しい視点にたった「医療コンフリクト・マネジメント：紛争・苦情場面の連携の方法」をご紹介頂きました。医療者と患者側の双方に共通する要素に着目しながら、対話を通じて、ニーズに应答的な解決を協調的・創造的に模索していくなど、これまでの対決型の訴訟と異なる視点には感動を覚えました。特に、ロールプレイやメディエーション等に関しては多くの参加者が興味を持ったようで、学会後のアンケートにも、講習会を望む声が聞かれました。(学術集会の内容及びアンケート結果は<http://www.ii-okinawa.ne.jp/people/agape/>でもご覧になれます)

沖縄地方会では沖縄県内の医療機関の連携が益々重要と考えております。今後とも、多くの会員の皆様に有益となるような学会・研修会を開催したいと存じますので、宜しくお願い申し上げます。最後になりましたが、会員の皆様のご健勝を心よりお祈りいたします。

## 青森地方会特別講演会

地方会支部長：青森県立中央病院院長 原田征行

日本医療マネジメント学会青森地方会の特別講演会が、10月20日(金曜日)午後6時から青森グランドホテル(青森市;大正富山医薬品株式会社共催)で開催されました。今回の特別講演会はNTT東日本関東病院副院長 小西敏郎先生の「患者に選ばれる病院作りを目指してーIT化時代に選ばれる病院となる為の医療倫理ー」と日本経済新聞社論説委員 渡辺俊介先生の「医療制度改革と医療の質を考えるーマスコミからみてー」の2講演から成り、いずれも現在の医療制度の根幹にかかわる時宜を得た内容でありました。参加者は約60名で医師、コメディカルの方々に加えて事務関係者も多数出席されました。会場では熱心な質疑応答が繰り返され大変有意義なうちに終了しました。

## 第6回栃木地方会

地方会会長：国立病院機構栃木病院院長 山崎 晋  
学術集会会長：大田原赤十字病院院長 宮原保之



会場風景

日本医療マネジメント学会第6回栃木地方会は、平成18年10月21日(土)に、学術集会会長大田原赤十字病院院長 宮原保之先生のお世話のもと、栃木県宇都宮市の国立病院機構栃木病院地域医療研修センター講堂にて開催されました。

主題は、「院内感染管理」が取り上げられました。参加者は190名で、その職種別内訳は、表1のとおりで、本学会の特徴である、組織横断的活動であることが示されました。

学会口演は、主題のもとに、基調講演、特別講演およびシンポジウムから構成されました。基調講演は、自治医科大学感染管理学助教授の森澤雄司先生が「サーベイランスによる医療質保証の実践」と題し、全職員の教育と情報共有のシステムを構築することの重要性を強調されました。特別講演は、獨協医科大学臨床検査医学講座講師の吉田敦先生によって「感染管理における専門職の役割と貢献」と題するお話で、「院内感染には、広範な院内職種が関与しており、それぞれが適切に専門性を発揮することが求められる」と述べられました。また、シンポジウムは、自治医科大学の森澤雄司先生が座長を務められ、最先端の医療現場で院内感染管理に取り組んでおられる感染管理認定看護師である国立病院機構栃木病院の三沢美知代氏および同じく芳賀赤十字病院の野澤寿美子氏、さらに大田原赤十字病院臨床検査技師の薄井啓一郎氏の3氏が講演し、吉田敦先生もアドバイザーとして、討論に参加されました。聴衆も交えた討論は、極めて活発で時間制限のため途中で終わらなくてはならないほどでした。来年は、菅間記念病院院長鈴木正徳先生が学術集会会長として担当され、「医療連携」を主題として開催されることが報告されました。

表1：職種別参加者数

職種	医師	看護師	助産師	薬剤師	臨床検査技師	放射線科技師	リハビリ療法士	事務職	不明	合計
参加者数	14	107	3	9	8	6	8	34	1	190

## 第7回茨城県地方会学術集会

当番世話人：水戸赤十字病院院長 佐久間正祥



会場風景

11月11日(土)、茨城県つくば市において第7回日本医療マネジメント学会茨城県地方会学術集会を開催しました。

当日はあいにくの雨模様にも関わらず600名を超える参加者が会場を訪れ、盛大に挙行することができました。

特別講演では前橋赤十字病院の宮崎瑞穂先生から「病院における危機管理と医療安全」と題して、医療事故が発生した際における対応方法を概説して頂きました。特に宮崎先生は大きく報道された医療事故の経験から、「迅速且つ一貫した説明」や「全職員統一した対応」が重要であると強調されました。